

# 令和7年度（第42回）全国社会就労センター長研修会 — 開催要綱 —

テーマ

## 社会就労センターの新たなプランディング ～CI戦略から30年～

社会就労センターが持つ二面性（“福祉的経営”と“企業的経営”）では、利用者支援の充実やサービスの質の向上と生産活動での成果（工賃向上）が求められています。

本研修会は、利用者支援・生産活動の両側面から、「就労支援施策の課題と展望」「連携と実践」、「人材確保やICTの活用、工賃向上へのチャレンジ」を学ぶために開催します。

日 時

[会場参加] 令和8年2月26日(木)、27日(金)

[オンデマンド視聴] 令和8年3月16日(月)～4月30日(木) ※予定

会 場

◆ KFCホール 3階 「KFC Hall Annex」／11階 「Room 115」（2日目分科会で使用）

(〒130-0015 東京都墨田区横網一丁目6番1号 Tel: 03-5610-5801)

※都営地下鉄大江戸線両国駅(A1出口)徒歩0分／JR総武線両国駅(東口・西口)徒歩約7分

◆第一ホテル両国 5階 「清澄」（情報交換会のみ）

(〒130-0015 東京都墨田区横網一丁目6番1号 Tel: 03-5611-5211)

参 加 費

[研修会]

[会場参加] 定員：200名

◆会員：15,000円／名（税込）

◆非会員：25,000円／名（税込）

\*会場参加の方は、後日オンライン視聴が可能ですが（オンライン視聴のお申込みは不要です）。

[オンライン視聴]

★会員施設・事業所限定★

◆20,000円／施設・事業所（税込）

\*非会員施設・事業所からはオンライン視聴のお申込みはいただけません。

※会員の範囲は下記のとおりです

①主催団体（全国社会就労センター協議会、日本セルフセンター）の会員施設・事業所〔ブロック・都道府県の社会就労センター協議会、セルフセンターのみに加入している施設・事業所は含まれません〕

②行政職員・社協役職員

※参加申込と同時に新規加入された場合、会員扱いとします

※協力企業等感謝表彰式に参加される推薦施設であって、表彰式のみに参加の方は、参加費は不要です

[情報交換会] 定員：200名

◆1名につき11,000円（税込）

参 加 対 象

◆社会就労センター（就労支援施設・事業所）の施設長・管理者・事務長

◆社会就労センターを経営する法人の理事・事務局長等の経営（運営）管理業務担当者

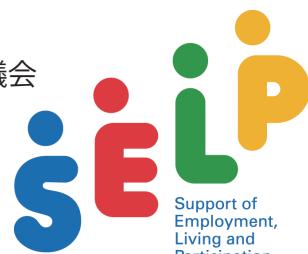
◆職員その他

社会福祉法人全国社会福祉協議会 全国社会就労センター協議会

[共催] 認定特定非営利活動法人 日本セルフセンター

後 援

厚生労働省（予定）



**プログラム** (※変更の可能性があります)

**【1日目：2月26日（木）】 9:45～受付開始**

10:30～10:40 (10分)	<b>開会式</b> <主催者挨拶> 全国社会就労センター協議会 日本セルプセンター 会長 叶 義文 会長 高江 智和理
10:40～11:30 (50分)	<b>基調報告 「“働く・くらす”を考える～社会就労センターの羅針盤～」</b> <報告者> 全国社会就労センター協議会 会長 叶 義文 * “物価高騰”や“人手不足”による影響に加え、一部の事業者による“不正受給”や“障害者雇用促進法の理念を逸脱した障害者雇用”等、社会就労センターが積み上げてきた実践が脅かされています。社会就労センターは何を目指すべきなのか。その羅針盤となる“働く・くらすを支える”という理念を改めて考える機会とします。
11:30～12:00 (30分)	<b>全国社会就労センター協議会 協力企業・団体・官公庁等感謝 表彰式</b> 社会就労センターに、継続的に一定額以上の発注をいただいた企業等および社会就労センターを利用されていた障害のある方を継続して雇用いただいた企業等に対して、感謝の意を表するために表彰を行います。
12:00～13:10	<b>昼食・休憩（昼食はお申込制）</b>
13:10～14:40 (90分)	<b>行政説明×公開意見交換 「就労支援施策の“課題”と“展望”」</b> <登壇者> • 厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 障害福祉課 • 全国社会就労センター協議会 雇用事業部会長 野々下 哲也 • 全国社会就労センター協議会 就労継続支援事業部会長 小林 香 • 全国社会就労センター協議会 就労移行支援事業部会長 小澤 啓洋 <コーディネーター> • 全国社会就労センター協議会 副会長 鈴木 暢 • 全国社会就労センター協議会 制度・政策・予算対策委員長 井上 忠幸 * 就労選択支援事業の動向、悪質事業者による不正受給等は、就労支援の利用者や従事者にとって大きな課題と言えます。厚生労働省・障害福祉課との意見交換を通して、就労支援施策の“今”（課題）を議論し、“これから”（展望）を共有する機会とします。あわせて、令和8年度の関係予算案や処遇改善施策等についての行政説明をいただきます。
14:40～14:55	<b>休憩</b>
14:55～18:00 (185分) うち休憩15分	<b>シンポジウム 「社会就労センターの新たなブランディング ～CI戦略から30年～」</b> <シンポジスト> • 日本福祉大学 福祉経営学部 教授 //社会福祉法人睦月会 理事長 緋 祐二 氏 • 一般社団法人あいち福祉振興会 代表理事 中島 将登 氏 • 全国社会就労センター協議会 副会長 松村 浩 <コーディネーター> • 全国社会就労センター協議会 調査・研究・研修委員長 志賀 正幸 * 社会就労センターが様々な実践を積み上げる中で、“地域”において異分野と“連携”することが一つの形となっています。本シンポジウムでは、これから社会就労センターのブランディングを“地域”と“連携”的観点から探るとともに、セルプ協の役割についても考える機会とします。
18:30～20:00 (90分)	<b>情報交換会（希望者のみ）</b> 会場：第一ホテル両国 5階 「清澄」

**【2日目 2月27日(金)】** ※会場参加の場合、お申込みの際に参加する分科会をご選択ください。

### 〔分科会Ⅰ〕 社会就労センターの経営とは

社会就労センターは“工賃向上”、“人手不足”等の経営に関する危機感や、“個人情報の漏洩” “ホームページの改竄”等の新しいリスクまで、様々な経営判断が求められます。変化の激しい時代を越えていくためには、これらの課題に立ち向かっていく必要があります。

本分科会では、社会就労センターのさまざまな経営課題への対応策について考える機会とします。

コーディネーター：全国社会就労センター協議会 調査・研究・研修副委員長 野々下 哲也

9:00～9:05	<b>導入</b>
9:05～9:55 (50分)	<b>講義 「作るチカラ ～全国の事例から見た商品開発のヒント～」</b> ＜講師＞ Kプランニング 代表 戸原 一男 氏
9:55～10:00	<b>休憩（※会場転換）</b>
10:00～10:50 (50分)	<b>講義 「社会就労センターの経営課題〔人財編〕</b> ～人財（外国人材を含む）、定着、育成～ ＜講師＞ 社会福祉法人征峯会 理事長 渡辺 和成 氏
10:50～11:00	<b>休憩（※会場転換）</b>
11:00～12:15 (75分)	<b>パネルディスカッション</b> <b>「社会就労センターの経営課題〔ICT技術編〕</b> ～政策から紐解く社会就労センターが避けては通れないこと～ ＜パネリスト＞ 株式会社ジェネラティブエージェンツ 代表取締役 西見 公宏 氏 HOOKS PLANNING 代表 兵藤 勇気 氏 社会福祉法人筑紫会 常務理事 吉原 大樹 氏
12:15～12:30	<b>閉会式</b>

### 〔分科会Ⅱ〕 社会就労センターの連携と実践～分野を超えて生まれる可能性～

「農福連携」、「伝福連携」、「水福連携」…。今、福祉の現場では異分野との連携がトレンドとなり、その取り組みが注目されています。異分野との連携を通して、売上の向上、仕事の創出などで成果を上げている実践が進められています。

本分科会では、『連携』をキーワードに各地の実践を紹介し、これからの実践に繋がるヒントを得る機会とします。

コーディネーター：全国社会就労センター協議会 調査・研究・研修委員 成田 修

9:00～10:00 (60分)	<b>報告 「行政との連携</b> ～名古屋市のプロポーザルで動き出した新たな連携の動き～ ＜報告者＞ウェルジョブなごや 統括副責任者 豊嶋 良幸 氏
10:00～10:30 (30分)	<b>実践報告 「行政との連携～京都市 はあと・フレンズ・ストアとの連携～」</b> ＜実践報告者＞社会福祉法人修光学園 ワークセンター Halle! センター長 藤田 公智 氏
10:30～10:45	<b>休憩</b>
10:45～11:45 (60分)	<b>報告 「事業協同組合における連携</b> ～福祉型だからできる、あたらしい・はたらくの創造～ ＜報告者＞あたつく福祉型事業協同組合 代表理事 山内 民興 氏
11:45～12:15 (30分)	<b>実践報告 「企業との連携</b> ～大手ECサイトの開発など、地域を越えてITではたらく実践～ ＜実践報告者＞社会福祉法人ぷろぼの 理事長 松本 直樹 氏
12:15～12:30	<b>閉会式</b>

## 参加申し込み

《参加申し込み》 専用サイトよりお申し込みください。

<http://www.mwt-mice.com/events/selp42nd>

※参加申し込みの登録操作方法は、専用サイトのトップページをご確認ください。

※宿泊のお申し込みも同専用サイトよりお申し込みください。詳細は専用サイトにてご確認ください。

### 《“参加申込”から“参加”までの流れ》

#### [対面参加・オンデマンド視聴 共通]

- 12月17日(水)：参加申込受付開始 ● 申し込み完了後、24時間以内に登録メールアドレスに「申し込み完了メール」を送信します。  
▼  
1月23日(金)：参加申込締切  
▼  
1月30日(金) 目途：参加費振り込みに係るご案内  
▼  
2月13日(金)：参加費振込期限

#### [会場参加]

- 2月17日(火)：会場参加に係る最終のご案内  
● 参加券等を各自ダウンロードいただき、印刷をお願いします（研修会当日持参）。  
▼  
2月26日(木)・27日(金)：研修会当日  
▼  
3月上旬：オンデマンド視聴に係るご案内  
※視聴に係る資料は対面参加の際にお配りする資料をご活用ください。

#### [オンデマンド視聴]

- 2月17日(火)：オンデマンド視聴に係るご案内【第一報】  
▼  
2月下旬：資料郵送  
▼  
3月上旬：オンデマンド視聴に係るご案内【最終】  
▼  
3月16日(月)～4月30日(木)：オンデマンド視聴期間  
※上記日程は予定です（ご案内期日が前後する可能性がございますので、あらかじめご了承ください）。

※各種ご案内メールが届かない場合は、名鉄観光サービス(株) MICE センターへご連絡ください。

※ご使用のパソコン等でセキュリティのためにメールの受信拒否設定をされている方は、@mwt.co.jp ドメインからの受信許可設定を事前にお願いします。

### 《参加登録情報の変更・取消について》

- ◇締切日1月23日(金)までの変更・取消は参加者ご自身にて専用サイトで変更等の操作をしてください。  
◇締切日以降の変更・取消は、専用サイトのお問い合わせフォームからご連絡ください。  
◇2月10日(火)以降の参加取消については、ご入金の有無にかかわらず参加費を申し受け、研修会終了後の資料送付をもってかえさせていただきますので、予めご了承ください。

### 《情報保障など》

- ◇車いす利用や手話通訳・要約筆記等のご希望など、研修会参加に当たって配慮が必要なことがございましたら、参加申し込み時にお知らせください（「情報保障欄」にご入力ください）。

### 個人情報の取扱い

- ◇参加のお申し込みにあたりご提供いただいた個人情報は、本研修会の運営・管理の目的に限って使用します。なお、本研修会の申込受付等に関する業務を委託する名鉄観光サービス(株) MICE センターには、上記の目的のため、情報を共有します。  
◇参加者の交流に資するため、ご提供いただいた情報をもとに参加者名簿（都道府県名、参加者氏名、施設・事業所名、事業種別、役職名等）を作成し、当日参加者に配布するとともに、参加案内・取りまとめ等のために各都道府県セルフ協事務局にも提供いたします。

### お問い合わせ先（営業時間 平日 10:00～17:00）

※ 12/27～1/5 は休業いたします

#### 参加申込にすること

名鉄観光サービス株式会社 MICE センター

TEL:03-3595-1121

<問い合わせフォーム>

<https://www.mwt-mice.com/events/selp42nd/deliver>

#### 研修会プログラムにすること

全国社会就労センター協議会

全国社会福祉協議会 高年・障害福祉部

事務局（担当：寺西、小倉、佐藤）

TEL：03-3581-6502／FAX：03-3581-2428